

[かがわで働く Interview]



ワーク・ライフ・バランスにより
持続的な働き方ができる企業 Case 1

株式会社味のちぬや

“自分の会社の
保育園だから
安心して子どもを
預けられた”

「出産してもずっと働きたい」を企業が応援
仕事にも集中できる環境づくりに取り組んでいます

地 域の保育所に空きがない「待機
児童問題」が指摘されている中、
「味のちぬや」では出産後も子どもの預け
先に悩むことなく働き続けてもらおうと、会
社のすぐ近くに企業内保育園「ちぬやキッ
ズ」を開設し、従業員や地域の子どもたち
を受け入れています。

保育園の開設にあたって中心になっ
たのは女性社員たち。自然素材の木の床、

手作りの給食とおやつなど、子育て経験
からのアイデアを出し合い、細部までこだ
わって完成させました。

育児と仕事の両立をサポート

入社時からずっと、出産後も仕事を続け
たいと考えていた福田さん。そのため出産
後は約1年の育児休業を経て復帰。初め

[会社概要]



創業43年、コロッケとメ
ンチカツに特化した冷凍
食品メーカー。業務用ポ
テコロッケのシェアは
全国トップクラス。

企業情報はP.108 ▶

後輩からのひと言

管理部管理課 | 満岡 礼美さん



親子で保育園へ入っていく姿にとても癒やされて
います。地域の子どもも受け入れることで、会社と地
域の人との距離も近くなると思います。

ての子育てに不安も大きかったけれど、自分が働いているすぐ近くに子どもがいる、何かあったらすぐ駆けつけられるなどの安心感から、企業内保育園への入園を決め、育児休業中に入園を申し込みました。

8時半～17時半の勤務中、預かってくれるので、「毎日、一緒に出勤して一緒に退社しているような感覚」。保育園の送迎にかかる時間が少ないことで、ゆとりを持って朝の支度や夕食の準備ができるなど、家事と仕事の両立がストレスなくできているといいます。

企業内保育園の子どもたち15人ぐらいを招待し、ハロウィーンやバレンタイン、野菜の苗の植え付けといったイベントを社員と楽しむ交流会も、年に数回行われています。「会社で子どもの顔を見られるなんてうれしいですね」と笑顔。ほかの社員たちにとっても癒やされるイベントとなっています。



福田 真佐江さん(28歳)

所属部署 | 管理部財務課

入社した理由

面談時に子育て中の女性社員が多いと聞き、出産後も仕事を続けられる環境が整っていると感じたことと、職場のアットホームな雰囲気から働きやすさも感じて志望。

入社後ヒストリー

2016年	入社 管理部財務課に配属 経理などの仕事を担当
2018年	3月出産 産前産後休暇後、育児休業を取得
2019年	2月 元の部署にフルタイムで復帰

My rules 大切にしている3つのルール

- ① 会社でのミスなどを家庭に持ち込まない
- ② 分からないことは必ず聞く
- ③ 子どもを保育園に預ける時は、きちんと顔を見て「行ってきます」と言う

私の必需品

仕事中はいつも持ち歩き、細かなことでも全部メモ。裏紙を使って経費節減にも貢献します。



利用できる制度 | 企業内保育園

対象年齢は生後3カ月から未就学児で、地域の子どもも入園できる。申し込みは随時受け付けている。





ワーク・ライフ・バランスにより
持続的な働き方ができる企業 **Case 2**

株式会社トーカイ

“子どもの成長を
間近で見られて良かった”

育児休業のほか、ノー残業デー、時短勤務制度など
働きやすい職場づくりに会社全体で取り組んでいます

家

家庭生活の充実があるから仕事もやりがいを持って取り組める、と考えるワーク・ライフ・バランスを大切にしている企業が増えています。トーカイでは、そのための対策の1つとして男性の育児休業取得にも積極的に取り組んでいます。

生本さんは、勤続年数が1年未満で育児休業を取れなかった奥さんに代わり、1年4カ月の育児休業を取得。「迷っていたら、

上司や同僚が快く背中を押してくれた」と、職場が育児休業を取りやすい雰囲気だったこともあり決断しました。

育児休業中は「みんなに感謝しながら育児に専念しました」。働いている奥さんの負担にならないよう夜中のミルクも担当したそう。「大変だったけど、子どもの成長を間近で見られたのは本当に良かった」と振り返ります。

[会社概要]



リネン品(タオルやシーツ等)のリース、クリーニング事業を中心としたリネンサプライサービスを行う。

企業情報はP.046 ▶

上司からのひと言

生産本部生産部生産技術課保全係係長
峯 孝仁さん



自分も育児休業を取得し、いい時間が過ごせました。みんなでサポートし合いながら、育児休業取得率が男女とも100%になればいいですね。

会社とは、部署の上司や同僚と、工場の状況や事務処理などについて1カ月に1回くらい連絡。元の職場にフルタイムで復帰した時は「みんな温かく迎えてくれた」といいます。「他の人が育児休業を取得する時、今度は自分がフォローする番です」と力を込めます。

取得するのが当たり前、 という環境づくり

トーカイでは男性社員の育児休業取得率を高めるために、初日から3日間を有給とし、出産祝いに加えて育児休業に関するQ&Aや先輩パパのコメントなどを記した独自の「イクメン応援BOOK」を手渡し、取得を勧めました。その結果、現在では男性社員の約8割が育児休業を取得。期間は1日～1年以上とさまざまですが、取得するのが当然という雰囲気ができたといいます。



◀イクメン応援BOOK



生本 佳己さん(27歳)

所属部署 | 生産本部生産部生産技術課保全係

入社した理由

説明会で残業を減らす取り組みや育児休業の取得率の高さなどについて知り、働きやすい環境づくりに力を入れていると感じました。

入社後ヒストリー

- 2015年 入社
生産本部生産部
生産技術課へ配属
- 2017年 11月
奥さんが出産、産前産後休暇を取得
- 2018年 1月
奥さんの産前産後休暇と交代で
育児休業を取得
- 2019年 5月
元の部署に復帰

My rules 大切にしている3つのルール

- ① あいさつと笑顔を心がける
- ② 自分も周りの人も安全第一に
- ③ 週末はしっかり休む

私の必需品

機械をメンテナンスする時に使う工具の1つ。工具を手にしない日はないそう。



利用している主な制度

■時短勤務制度

子どもが小学2年生までは1日6時間の時短勤務ができる

■ノー残業デー&20時消灯

フロアごとに曜日を決め、週に1回残業をしない日を設ける。また毎日遅くとも20時には仕事を切り上げることを推進

■タイムマネジメント研修

管理職を対象に、時間管理や仕事の効率化などについて学ぶ



多様な働き方ができる企業 **Case 1**

株式会社パル技研

“AIの研究者と仕事で出会い
大学で学びたいと思いました”

フレックスタイムや在宅勤務などの制度で
多様な働き方をサポートしてくれます

工 エンジニアが多いパル技研。開発している製品の納期が近い時期と、そうでない時期の忙しさに差があることも多く、時間を効率的に使えるように、また家庭と仕事の両立ができるよう配慮した環境づくりを進めています。

例えば、フレックスタイムや在宅勤務。内之浦さんも、何度かフレックスタイム制度を活用しています。「帰りが遅くなる時期

があるので、比較的余裕があるときは制度を使って家族サービス。妻も働いているので喜ばれますね」。

「子どもが熱を出したので16時までの勤務に」というふうに、男性社員も積極的にフレックスタイムを活用して子育てと仕事を両立しています。また、家庭の事情で数カ月間、在宅勤務制度を活用、その後、通常勤務に戻った事例もあるといえます。

[会社概要]



マイクロ波センサー、画像センサーの技術を生かして、トラックの巻き込み事故警告装置や、監視システムなどを開発。

企業情報はP.101 ▶

同僚からのひと言

生産・管理部 管理課人事担当
別所 大輔さん



今後も、多様な働き方への対応と、技術者のスキルアップに力を入れていきたいと思っています。

勤務中に大学の授業を受けられる

エンジニアがスキルアップすることで、ものづくりの楽しさを実感できる、という考えのもと、同社では学位取得支援規定をつくって社員の「学び」も支援しています。

内之浦さんは制度を活用して週1回程度、広島大学大学院工学研究科 情報工学専攻の教授からAIについて学んでいます。オンラインで授業を受けるのは勤務時間内。そのため会社では、制度を活用する人とともに、同じ部署で働く人にも負荷がかかり過ぎないように配慮しながら、年間事業計画を立てています。

そのほか、会社で定めた資格を取得すると1～15万円の補助金が支給される「自己啓発支援規定」もあります。時代に合わせて対象となる資格は随時更新しています。「スキルアップを目指す人が多い職場なので、まわりから刺激を受けます」。



内之浦 伸治さん(34歳)

所属部署 | 技術部ソフトウェア開発係
資格 | デジタル技術検定

入社した理由

一から自分で製品開発できる会社で、大好きな「ものづくり」がしたかった。大企業にはできない「ニッチ」な製品で世界トップを目指したい。

入社後ヒストリー

- 2008年 入社
デジタル技術検定2級取得
- 2015年 産学官連携で「巻き込み事故警告装置」開発に携わる
これがきっかけで、大学でAIについて学びたいと決意
- 2019年 AIによる画像処理装置の開発に従事

My rules 大切にしている3つのルール

- ① お客さんが大切にしていることをしっかり聞いて開発に生かす
- ② トラブルの時は、下を向かない
- ③ 常に笑顔を中心掛ける

私の必需品

キーボードの機能などを使いやすいように自らカスタマイズしたパソコン。



会社の制度

フレックスタイム

9時～15時のコアタイムは必ず勤務。コアタイム以外は自分の裁量で働き、会社側で決めた毎月の総労働時間を働ければいい制度

在宅勤務

事情があって通常勤務ができない社員が、電話やメール、チャットなどを利用して、社内とコミュニケーションを取りながら働く制度

学位取得支援規定

一定の要件を満たした社員が応募でき、面談などを経て社内で認定されると、大学または大学院などで学べる



多様な働き方ができる企業 **Case 2**

日本興業株式会社

“西日本エリアを中心に営業
出張先でも効率的に
仕事ができます”

在宅勤務、時短勤務など、働きやすい職場
女性が活躍できる環境も整っています

男

性社会といわれる建設業界で、新しい力として女性の活躍を進めたいと考えている日本興業。権藤さんが所属する営業推進部は担当エリアが広く、中国・四国・九州の設計事務所を回って顧客のニーズを聞き、それに合う自社商品を提案しています。

週の半分以上は1人で、または部下と一緒に出張で県外に。会社にいる時間が

限られているため、パソコンやスマートフォンを使ったモバイルワークで、会社や顧客とやり取りができるよう工夫しています。「どこにいても社内のデータにアクセスできるなど、離れていても仕事に取り組みやすい環境が整えられているので便利ですね」。

一方で、ネットだけでのやり取りにならないよう会社との連携も密に、顧客にも丁寧に対応するよう心掛けています。

[会社概要]



昭和31年創業。公園資材や舗装用ブロックなどのプレキャストコンクリート製品を扱う環境整備資材メーカー。

企業情報はP.131 ▶

上司からのひと言

西日本支店長・四国営業所長
太田 孝明さん



さまざまな働き方をサポートする制度を整備することは、女性の活躍にもつながると考えています。

女性が働きやすい職場を

「10年ほど前は女性の営業職は1人もいなかったのですが、現在は営業職に6人、技術職にも4人で、女性の採用も増えています」。そのため、多様な働き方ができるように、在宅勤務制度や時短勤務制度を整備し、現在、育児休業明けで時短勤務制度を活用している女性社員もいます。

権藤さん自身は、同社で3人いる女性の営業管理職の1人。部下の働き方について、心を配らなければならない立場でもあります。仕事に打ち込みたい時期、子育てに力を注ぎたい時期と人によってさまざまな局面がある中で、「仕事の面だけではなく、働き方についても部下たちと積極的にコミュニケーションしていきたいと思っています」。

年齢、性別などさまざまな違いをもつ多様な人材が働ける環境という意味の「ダイバーシティ」が注目されている今。会社では「管理職も含め、女性が活躍できるような環境を整えていきたい」と考えています。



権藤 宏美さん(38歳)

所属部署 | 営業推進部
資格 | 2級土木施工管理技士

社会人となる皆さんへメッセージ

営業という職種は、人と向き合う仕事なので、後輩たちは顧客先での人間関係の構築に悩んだりすることもあるようです。でも、どんな時もあきらめず、明るく元気に仕事をしていれば、良い結果はついてくると思っています。

それに会社にはアドバイスできる先輩がたくさんいます。困った時は気軽に相談してほしいですね。

仕事を選ぶ時は、私もそうだったのですが、やりたい事、好きな事がどうかを大切にしてほしいと思います。

My rules 大切にしている3つのルール

- ① 元気にあいさつする
- ② 出会いを大切にする
- ③ 建設現場となる地域に興味を持つ

私の必需品

スケジュールも名刺もメールもすべて管理しているスマホ。これがないと仕事が始まらない。



会社の制度

在宅勤務制度

企画・デザイン・設計や情報通信関係など家でも仕事可能な職種について認められている

時短勤務制度

子どもが3歳までは1日6時間まで短縮して勤務することができる

くるみん認定

子育て支援に積極的に取り組む企業に厚生労働大臣が認定する「くるみん認定」を取得



キャリアビジョンを持って
働きがいを感じることができる企業 **Case 1**

徳武産業株式会社

“これまでの経験が
今の自分をつくっている”

一人ひとりの“個性”に寄り添うものづくりが
業界の常識を変えた画期的な商品につながりました

介 護シューズのバイオニア企業として、シェア上位を誇る徳武産業。オリジナルブランド靴“あゆみ”は、個々が抱える足の悩みに合わせて作ることができる上に、左右サイズ違いや片足だけの販売も可能という、靴業界の常識を打ち破るスタイルを確立しました。

“あゆみ”は、ある介護施設で転倒者が続出していたことから「高齢者が転倒しにくい

靴を作ってほしい」との依頼を受けて開発がスタート。社員が施設に通い詰めて歩き方を観察するとともに、500人以上の高齢者から意見を聞き、約2年かけて完成させました。

誕生から20年あまりになる今、徳武産業ではより一人ひとりに合わせた靴が作れる「パーツオーダーシステム」に力を入れています。

〔会社概要〕



ケアシューズ部門トップ
シェアの「あゆみ」を手がける
オリジナルシューズメーカー。

企業情報はP.127 ▶

同僚からのひと言

管理部管理課 | 安友 義人さん



購入者のことを一番に考えて、良い商品を1日でも早く届けられるような職場環境であり続けたいですね。

さまざまな経験は無駄にはならない

高嶋さんは、全国から集まるパーツオーダーの受注から出荷までを担う国内生産課の課長。「ベルトの開閉方向を変えたい」「靴底の高さを調節したい」といったさまざまな要望に応える靴を従業員たちとともに完成させます。「今はみんながいきいきと仕事に取り組める職場を作ることが使命」と高嶋さん。

これまで、技術職から海外への資材手配、生産管理のマネジメントなど、さまざまな職種を経験。「その都度やりがいも目標も変化していきましたが、どんな経験も自分の糧になることばかりだった」と振り返ります。常に心がけていることとして「人間性を磨き続けることは“ものづくり”だけでなくどんな仕事でも大切。若い人たちにはくじけそうな時も、無駄なことは何一つない、と前向きに捉え頑張してほしい」とエールを送ります。



高嶋 典弘さん(46歳)

所属部署 | 製造部国内生産課

社会人となる皆さんへメッセージ

うちの会社の若い人たちは、仕事とプライベート、オンとオフを上手に切り替えている印象です。あと真面目。そのため、失敗すると落ち込んだり、融通がきかなかったりしてしまうようです。でも技術を習得した時や新しいことにチャレンジできた時などには、とびきりの笑顔を見せてくれ、成長している様子が伺えます。

会社を選ぶ時は、給料や福利厚生などに目がいきがちですが、企業理念をしっかりと確認してほしいと思います。いかに社会に貢献できるのかも、働くモチベーションにつながるので大切だと思います。

My rules 大切にしている3つのルール

- ① 損得より善悪で判断する
- ② 体調管理に気をつける
- ③ 感情がぶれないこと

私の必需品

マラソンが趣味。走った距離やタイムなどを測定。健康管理のパートナー。



独自の技術・商品とは?

商品名 | あゆみケアシューズ

累計販売数1500万足以上。購入者にはメッセージとアンケートはがきを商品に添えます。全国から、毎月3000枚を超えるはがきが返信されており、「この靴のおかげで歩けるようになった」などの声が、社員たちのやりがいにつながっているといえます。





キャリアビジョンを持って
働きがいを感じることができる企業 **Case 2**

株式会社都村製作所

“公園の遊具から
競技用施設まで経験できる
自分の提案が形になるから、
やりがいがあります”

自転車競技「BMX」で使うジャンプ台などの製作分野に参入
国内トップアスリートとチームになって“世界レベル”のものづくりに挑戦

東

京五輪で新種目となった自転車競技「BMXフリースタイル」。都村製作所では専門チームをつくり、BMXに使われるジャンプ台などの開発・製造に取り組んでいます。大藪さんは、設計担当とアイデアを出し合いながら製造と施工を担当。試作品ができ上がると国内トップ選手を招いて試走、その意見をもとにさらに商品を改良していきます。

「香川にいながら、トップ選手と直接会ってディスカッションできる会社は、あまりないと思います」。一流選手から「ツムラセクションはいつもより高く飛べる」といわれると励みになるし、メダルを狙う選手と一緒に世界で戦っている気持ちになるといいます。

大会には可能な限り出かけるそう。選手はもちろん競技の団体や連盟との関係を築くことが、新たな受注にもつながっています。

[会社概要]



公園の遊具からスポーツ公式競技器具まで、「体を動かす楽しさ」を伝えるものづくりを、県内外で展開している。

企業情報はP.099 ▶

上司からのひと言

常務取締役 | 都村 和史さん



提案力が必要な製品は都村の“顔”。いい製品をつくり、都村ブランドを世界に発信してほしいと思います。

新たな挑戦や技術力アップを 会社が応援

BMXフリースタイルのジャンプ台は、ほかのスポーツと違い用具のサイズや形に決まりはありません。「その分、提案力が必要になります」。会社がBMX分野に参入できたのは、20年以上前からスケートボード等が楽しめる施設「スケートパーク」を、全国の自治体約50カ所に納品してきたノウハウがあるから。

「うちは、公園の遊具からバドミントン、バスケットボールなどの公式競技器具、スケートボードやBMXまで、一人できざまな製品に関わることができます」。そのため、一流選手向けの商品で学んだことをほかの製品に生かしてスキルアップできるほか、新商品の提案をすれば会社はチームをつくってバックアップ。必要な資格取得の受験料も負担してくれるなど“自分の可能性”を広げることができる環境があり、それがいい製品づくりにつながると大藪さんはいいます。



大藪 幸造さん(37歳)

所属部署 | 製造部
資格 | 高所作業車など

入社した理由

工程の一部ではなく、設計、製造、施工まで携わりたかったから。先輩の技術を吸収して、塗装・溶接・施工・提案と、オールマイティーになりたい。

入社後ヒストリー

- 2013年 入社 製造部配属
- 2014年 スケートパークセクション製造
などを経験
- 2016年 全国のスケートパーク製造・
納品に携わる
- 2017年 BMXフリースタイルセクション開発に
携わる
- 2018年 BMXフリースタイル
全日本選手権大会セクション設置を
担当する

My rules 大切にしている3つのルール

- ① BMXやスケートボードの大会を
できるだけ見学し、
選手とコミュニケーション
- ② 「壁」にぶつかった時、
今からがスタートだと考える
- ③ 趣味でBMXを始め、楽しさを自ら体験

私の必需品

BMXやスケートボード
用の施設の組み立
てには欠かせない。



独自の技術・商品とは?

BMXフリースタイルのジャンプ台「セクション」

形や表面の仕上げが、技の出来栄えに直結するため、トップ選手と二人三脚で開発。その品質が認められ、全日本選手権で製品が採用された。



利用している制度

資格取得支援制度

JIS溶接試験ほか国家資格など、製造に必要な資格取得の受験料は会社が負担